



『**どろろんようかいの森 サンタクロースがやってきました!**』 児童図書

＊ 南田幹太／作 広瀬克也／絵 文研出版 2022

あしたはクリスマスイブ。ようかいたちはまいとしじゅんばんに、ようかいのもりにやってきたサンタさんにおもてなしをしています。ことし、かかりになったヤマンバには、いいアイデアがありました。ですが、こまったことをひきおこしてしまうのです。



『**スノーマン クリスマスのお話**』 児童図書

＊ レイモンド・ブリッグズ／原作 マイケル・モーパゴ／作
ロビン・ショー／絵 佐藤見果夢／やく 評論社 2022

ジェームスは内気な男の子。おばあちゃんに読んでもらった大好きな『スノーマン』をもとに、庭にスノーマンを作りはじめます。小さかった雪の玉はだんだん大きくなり、そしてクリスマスの夜にうれしい奇跡が起こります。心あたたまる空想の世界を楽しんでみませんか。



『**吹雪の中の列車**』 児童図書

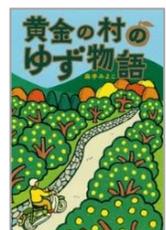
＊ マト・ロヴラック／作 山本郁子／訳 ささめやゆき／絵 岩波書店 2022
4年生のクラスで結成された「子ども同盟」。みんなで日帰り旅行に出かけるのですが、吹雪で帰りの列車が動かなくなってしまいます。クラスみんなで助け合おうとしますが、なかなかうまくまとまりません。さあ、ピンチを乗り越えられるでしょうか？クロアチアのお話です。



『**雪の日にライオンを見に行く**』 児童図書

＊ 志津栄子／作 くまおり純／絵 講談社 2023

唯人は、何をするにも自信がなく、話すのも苦手です。転校生の生島梓もクラスになじめないでいました。老人福祉施設のクリスマス会、年末年始の家族のやりとり、年明けのなわとび大会で「そんな子がいてもいいですよ。」という、先生のひと言がふたりを支えます。



『**黄金の村のゆず物語**』 児童図書

＊ 麻井みよこ／著 ポプラ社 2022

徳島県木頭村にやってきた農業技師の白木弘さん。ゆずの魅力にひかれて苗木開発に乗り出します。最初は乗り気ではなかった村の人たちも、彼の情熱にひかれ、協力してくれるようになりました。ゆずが木頭村の特産品になるまでの人々の努力を描いた実際のお話。



冬の季節に おすすめしたい本を選びました。



このブックリストは出版者の許可を得て表紙を掲載しています。
宮崎県立図書館 児童図書室(0985)29-2596



『ポップポー-きかんしゃゆきさんぽ』

えほん

とよたかずひこ／著 アリス館 2022

ゆきのなかを ポップポーと きかんしゃが はしります。そこへ きつねといぬと うさぎが ぴょんと のりました。ラッセ ラッセと きかんしゃが すすむと、おおきな ゆきだるまが ドーン! きかんしゃは どうなってしまうのかな。おとの ひびきが たのしい えほんです。



『ふゆのコートをつくりに』

えほん

石井睦美／文 布川愛子／絵 ブロンズ新社 2022

さきちゃんは、おかあさんが きていた あかい コートを つけました。コートは さきちゃんには おおきいので、ミコさんに したてなおしてもらうことになりました。ミコさんは もりで ひょうばんの したてやさんです。さあ、どんな コートになるのでしょうか。



『いつもクリスマス』

えほん

デシエ・アセド／文 サラ・サンチェス／絵
とどろきしずか／訳 光村教育図書 2022

あるあさ うさぎの ペピンが めを さますと ママと パパが、おきやくさんをおむかえする じゅんびで、おおいそがし。きょうは とくべつなひ だからなんですって。たのしい クリスマスを えがおで すごした ペピンは ふと あることを かんがえます。



『こぎつねのとくべつなクリスマス』

えほん

ポリー・フェイバー／さく リチャード・ジョーンズ／え
ひびのさほ／やく 岩崎書店 2022

ゆきの なか、こぎつねは おなかを すかせていました。まるまる ふとった ながいひげの おじいさんに たすけられ、あたたかい おうちで おいしい ごはんを ごちそうになりました。しあわせな こぎつねでしたが、おじいさんは とても いそがしそう。どうしてかな?



『ポレポレゆきのなか』

えほん

たしろちさと／ぶん・え 大日本図書 2022

おおきな にもつを もっているのは、あわてんぼうの やぎくん。おちようしもののはりねずみくん。そして しっかりものぞうくん。「ポレポレいこう」と オーロラツアーに いきます。さむい やまで まっていると あたまの うえに うつくしい こうけいが ひろがりました。



『ちいさいフクロウとクリスマスツリー ほんとうにあったおはなし』

えほん

ジョナ・ウィンター／文 ジャネット・ウィンター／絵 福本友美子／訳 鈴木出版 2022

クリスマスになると、ニューヨークの ロックフェラー・センターでは、もりから おおきなきりが きられ、クリスマスツリーに なります。じつは、このなかに ちいさな フクロウが すんでいました。たすけられた ふくろうは もりに かえることができるでしょうか。



『トスカのクリスマス』

えほん

マシュー・スタージス／文 アン・モーティマー／絵 おびかゆうこ／訳 徳間書店 2022

きょうは クリスマスイブ。でも ねこの トスカは たのしくありません。だれも かまってくれないし、プレゼントも もらったことが ないからです。いたずらをするからと、そとに だされた トスカ。そのひの よるキラキラひかるものが トスカに ちかづいて きました。



『あくたれラルフのクリスマスプレゼント』

えほん

ジャック・ガントス／さく ニコール・ルーベル／え
こみやゆう／やく 出版ワークス 2022

あくたれ ねこの ラルフは、クリスマスも いたずら ばかりです。パーシーをおもちの きしゃの レールに しばりつけたり、くつしたをはさみで ちょんぎったり。それでも セイラは あたたかく みまもります。ラルフも クリスマス プレゼントを もらえるでしょうか。



『ゆきのげきじょう』

えほん

荒井良二／作 小学館 2022

ともだちと あそんでいると、とうさんの だいじな ほんを やぶいてしまいました。おとこのこは ひとり ゆきの なかに てていくと、くぼみにおちてしまいます。そこで ゆきのなかに ちいさな げきじょうを つけました。ぶたいでは ゆきのこたちが おどっています。



『サンタクロースがうまれた日 A Christmas Story』

えほん

アラン・スノウ／作 石井睦美／訳 小学館 2022

サンタクロースは、どうやって うまれたの? どうして じゆうにそらをとべるの? どうして いつも まっかな ふくを きているの? など、サンタクロースには なぞが いっぱいです。この えほんで その ひみつが わかります。とおい きたの くにの おはなしです。